

2. 保護者アンケート結果の考察
及び前年との比較と考察

4そう思う 3大体そう思う の割合

- 4 そう思う
- 3 大体そう思う
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

○布佐中学校に関すること

	4 %	3 %	2 %	1 %	無 回 答	割合			
						30%	50%	80%	100%
1 学校は教育方針(目標)を理解されるよう努めており、保護者もそれに質問し連携に努めている。	19%	64%	12%	1%	4%	令和3年度 83% 令和2年度 91%			
2 学校は保護者会や通知票等で、子どもに身につけさせたい学力を示し、達成度をわかりやすく伝えている	23%	60%	11%	1%	1%	83% 84%			
3 学校は、学校・学年だより、ホームページ等で学校の様子・情報を積極的に知らせている。	25%	61%	9%	0%	3%	86% 92%			
4 学校は、保護者や地域の方に教育内容を公開し、地域との連携を図ろうとしている。	令和2、3年度は実施せず					令和元年87%			
5 学校は、ふさカリキュラムや布佐タイムなどの特色ある教育活動を行っている。	令和2、3年度は実施せず					令和元年95%			
6 学校は、避難訓練の実施などを通して、布佐の町に住む子どもたちに防災教育をしている。	18%	63%	14%	1%	1%	81% 86%			
7 学校は、特別に支援を必要とする生徒等、個々の生徒のニーズに応じた教育的支援を行っている。	21%	61%	12%	1%	1%	82% 81%			
8 学校は、生活マナーや社会のルールを大切に教育に努めている。	23%	65%	7%	1%	1%	88% 85%			
9 学校は、グループ学習など工夫をこらして生徒の学力の向上に力を尽くしている。	令和2、3年度は実施せず					令和元年72%			
10 学校は、交通安全指導や防災教育など、子どもの安全確保に努めている。	21%	60%	15%	1%	1%	81% 87%			
11 学校が教職員の働き方改革の観点から夜間休日の自動音声電話対応を導入したことは意義のあることである。	令和2、3年度は実施せず					令和元年77%			
12 学校が期間をもうけて教職員が家庭訪問を行うことは必要なことである。	令和2、3年度は実施せず					令和元年49% 今年度より69%			
13 学校は、ICTなどを利用して工夫した授業を行っている。	15%	54%	25%	3%	1%	今年度より69%			

○自分のお子様に関すること

1 お子様は、登下校時など進んで挨拶をしている。	17%	55%	21%	3%	1%	72% 78%			
2 お子様は、お互いのことを気づかい、思いやりがある。	20%	68%	6%	0%	3%	88% 87%			
3 お子様は、自ら学び、積極的に授業に取り組んでいる。	16%	43%	27%	9%	1%	59% 69%			
4 お子様は、学校へ行くことを楽しみにしている。	25%	49%	12%	6%	5%	74% 76%			
5 お子様は、授業が分かりやすいと言っている。	5%	43%	36%	9%	4%	48% 53% 52%			
6 お子様は、宿題など家庭学習(塾は除く)にしっかりと取り組んでいる。	20%	32%	29%	14%	3%	67%			
7 お子様は、体育祭や合唱祭、宿泊学習などの学校行事に積極的に取り組んでいる。(令和2年度は宿泊学習はなし)	37%	46%	9%	2%	3%	83% 83%			
8 お子様は、教職員と円滑な人間関係を築いている。	23%	58%	12%	3%	2%	81% 89%			
9 お子様は、友人と円滑な人間関係を築いている。	33%	54%	7%	2%	1%	今年度より87%			

○教職員に関すること

1 教職員は、保護者からの問い合わせや来校時に丁寧な対応をしている。	44%	49%	4%	0%	0%	93% 93%			
2 教職員は、家庭への連絡等を適切に行っている。	30%	52%	12%	1%	1%	82% 94%			
3 教職員は、子どもの理解に努め、相談や指導を丁寧に行っている	28%	47%	19%	3%	1%	75% 86%			

○保護者の方に関すること

1 子どもの健全な育成のため、担任等と積極的に意思疎通を図っている。	19%	56%	20%	3%	0%	75% 79%			
2 保護者として、学校の教育方針(目標)に関心があり、学校・学年だよりなどは目を通すようにしている。	30%	53%	9%	1%	5%	83% 81%			
3 保護者として、授業参観や学校行事等に積極的に参加し、子どもの様子を把握しようとしている。	令和2、3年度は実施せず					令和元年74%			
4 保護者として、子どもの家庭学習の必要性を理解し、提出物などもしっかり提出するように声をかけている。	28%	52%	15%	2%	1%	80% 83%			
5 地域の一員として、布佐中生たちを見守り声をかけるように意識している。	13%	49%	27%	7%	1%	62% 61%			

<考察>

・布佐中学校に関すること、生徒に関すること、教職員・保護者の方に関する項目で昨年度と同等または若干下降傾向にあります。生徒の学習に対する取り組みに関して保護者の皆さまが特落ち込んでいると感じている項目については改善に向けて対策を講じる必要があります。
 ・特に「自分のお子様に関すること」の3、5、6の項目について対策が必要と思われます。「分かりやすい授業」についてお父さまのお父さまのようすや言葉等を通じて分かりづらさがあると感じている保護者の皆さまが、多いことがわかります。お父さまが授業に積極的に参加し、学びの質を高めることが家庭学習への意欲につながると考えられます。そのためにも教職員が「主体的・対話的で深い学び」に向けてより一層の授業改善が必要と考えます。
 ・コロナ禍のなか、家庭訪問や地域に出る活動、防災訓練への参加などが中止となり、大切な活動・取り組みができなかったことは残念でしたが、内容を変更したり、縮小したり工夫しながら教育活動を続けてきたことに対する保護者の皆様の温かい支援も感じられます。しかし、コロナ禍によって対話的な学習に関して制限があるため、主体的・対話的で深い学びの実践による「分かる授業」に向けての取り組みは課題がありますが、タブレットの活用して思考の過程を残したり、考えを共有したりする新しい授業形態を取り入れた授業改善を進めながら、丁寧な指導や支援について、更に充実させていきたいと思っております。